

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 経企-05 ☒ 支 援 部 門									
	事務管理事務									
主管課	行革推進課					関連課		全課		
分野名	行財政運営									
目標 (目標値)	組織の効率的運営、組織の合理化									
人口等の データ	データ区分	22年度		21年度		20年度		備 考		
	人 口	177,161人		176,669人		176,484人		・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	78,812世帯		78,131世帯		77,430世帯				
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	1,265千円		201千円		21,613千円				
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	1,265千円		201千円		21,613千円				
	人員配置数	2.5人		2人		2人				
	人 件 費(千円)	21,625千円		17,908千円		18,680千円				
	協 働 の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	22,890千円		18,109千円		40,293千円				
	市民1人当 りの経費(円)	129円		103円		228円				
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	鎌倉市	大和市	厚木市	小田原市	秦野市	座間市	海老名市		
	人口千人あたりの 職員数(平成22年4 月1日現在・普通通 計)	7.39	5.76	7.18	6.24	6.16	5.84	5.90		
指 標		評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
職員数の適正化(各年度4月1日時点)		○	目標値	1,453人	1,424人	-				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			実績値	1,442人	1,428人					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
事務管理事務	160千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	職員の定数管理、執務室の配置などの事務管理								
事務改善事務	1,105千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	△	④公平性	○	⇒ □A □B ■C □D □E
	事業の概要	職員提案制度などを活用した事務改善								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	・第2次職員数適正化計画は、21年4月1日現在での目標は達成したが、22年度目標は計画策定時には想定されていなかった消防出張所の新設もあり、22年4月1日での目標を達成することができなかった。					
課題解決のための取組	・第2次職員数適正化計画は22年度で終了となった。職員数適正化計画は人件費削減等組織の効率的運営に有用な手法であることから、H24年度から実施の後期実施計画と連動する第3次職員数適正化計画の策定準備及び組織の見直しについて着手した。					
未解決の課題	・後期実施計画事業推進に連動した組織の見直し、第3次職員数適正化計画の策定。					
今後の方針	・第3次職員数適正化計画、組織の見直しを通じ後期実施計画事業実施のための体制づくりを行う。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名	小嶋 秀一郎

個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果	
事務管理事務	主な個別事業	263 定期刊行物(地方行政)	67千円	67千円	■適切	□見直し余地あり
		263 定期刊行物(自治日報)	21千円	21千円	■適切	□見直し余地あり
		263 定期刊行物(ガバナンス)	10千円	10千円	■適切	□見直し余地あり
		263 文具類等	64千円	62千円	■適切	□見直し余地あり
事務改善事務	主な個別事業	264 事務補助嘱託員報酬	1,008千円	1,008千円	■適切	□見直し余地あり
		264 職員提案褒賞	180千円	43千円	□適切	■見直し余地あり
		264 事務補助嘱託員旅費	62千円	54千円	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり